**《日语会话2》课程教学大纲**

**一、教师信息**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 教师姓名 | 职称 | 办公室 | 电话 | 电子信箱 |
| 曽我一正 | 教授 | 北大楼311室 | 18221165501 | kazsoga@hotmail.com |

**二、课程基本信息**

课程名称（中文）：日语口语

课程名称（英文）：Japanese Conversation 2

课程类别：□通识必修课□通识选修课□专业必修课🗹专业方向课

□专业拓展课□实践性环节

课程性质\*：□学术知识性🗹方法技能性□研究探索性□实践体验性

课程代码：0430709

周学时：2 总学时：32 学分: 2

先修课程：基础日语

授课对象：日语专业2年级学生

**三、课程简介**

教科書は「基礎日語　口語教程１，２」を使用して、第１学期は１の１３～１５課及び２の全課を範囲とする。第１学年で習得した日本語の知識を総活用して自分の言いたいことを相手に伝えることができるようになることを目標とし、この授業では会話中の細かい文法の間違いにこだわらずに流暢さに重点を置く。またこの授業は直接法で行う。

**四、课程目标**

この授業の目標は日本語専門４級試験のヒアリングにおいて高得点を学生に取らせることである。更に６割の学生に日本語能力検定試験２級（うち１割は１級を目指す）合格をさせるためのヒアリング対策をすることを二次目標とする。更に、物怖じせずに日本人との会話ができるようにすることも重要な目標としている。

**五、教学内容与进度安排**

1.　３２節課（２節課x１６回）

2.　既に１年間で学生の日本語能力にかなり差がついているため、一人一人に対する個別の指導が重要だと思われる。このため一回通常２節課（９０分）の授業を３節課（１３５分）にして授業中の個々の会話の機会を増やす。

3. この授業は参加型の授業であるため、学生は指定された教科書の部分を毎回予習してこないと授業の意味がない。授業を復習のような形で活用することが学生に求められる。

4. 通常の１５０％の時間を使って授業をしているため、進度もそれなりに早い。１冊目の３課、２冊目の９課の全１２課を今学期中に終える予定である。（参考までに１４級の進度と比べると１学期分早く、１４級の学生は２冊目の教科書を２年時の第２学期に終えた。１５時の学生は同時期までに３冊目を終える予定である。）毎回の予習量は約５～１０時間程度、授業の始めにディクテーションを毎回行い学生のヒアリング能力向上のためのトレーニングをする。その後新出単語の発音練習、教科書の課題に沿った会話練習といった内容で授業を進める。

5. 毎回授業中に最低２回は会話の機会を与えているため、特に中間テストは実施しない。参考ではあるが１２月４日に日本語能力検定試験があり、５９名中５３名が受験予定である。（これだけの学生が受験した例は過去にはない。中間テストをしなくても学生の学習意欲は十分であると判断している。）

**六、修读要求**

毎回授業中に学生には全員必ず会話の機会を与えているため、授業への参加は必須である。またこの授業は参加型の授業であるため、十分な予習が不可欠である（さもなければ学生の能力向上は見込めない）ため、そのための自己学習時間の確保は学生に必ずしていただきたい。

**七、学习评价方案**

学院の統一基準により平常点３０％、期末試験７０％とする。期末試験の内容は５０％を教科書の内容に沿った会話、残りの５０％は自由会話とする。

**八、课程资源**

必要に応じて適宜紹介する。現在学生に紹介しているものとしては早稲田大学の発音矯正プログラム（総時間１５時間）http://www.edx.org/course/japanese-pronunciation-communication-wasedax-jpc111x

がある。

**九、其他需要说明的事宜**

特になし。